

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 芦屋市翠ヶ丘 新築工事	階数	地上4F、地下1F
建設地	兵庫県芦屋市市翠ヶ丘町143番2	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住宅専用地域	平均居住人員	95 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年11月26日
敷地面積	1,434 m ²	作成者	MPデベロップメント株式会社一級建築士事務所
建築面積	913 m ²	確認者	
延床面積	3,854 m ²	確認者	

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 64%
③上記+②以外の 64%
④上記+ 64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 専有部の室内環境の向上や、Low-eガラスの採用をおこない、省エネルギー消費量を特に意識し、地球温暖化の抑制に努めるよう配慮した設計とした。		特になし
Q1 室内環境 仕上げ材にF☆☆☆☆を採用し、専有部の昼光率4.2%、など、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 CAT5eという高度情報通信設備を採用し、機能性・使いやすさに配慮した。 主要内装仕上げ材の更新必要間隔や給排水配管の更新必要間隔を長くするなど、耐用性・信頼性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー Low-Eガラスを含むペアガラスや断熱材により断熱性能を高め、品確法 5-1断熱等性能等級5相当の設計とすることにより一次エネルギー消費量を抑える配慮をした。	LR2 資源・マテリアル ODP=0かつGWP=1の断熱材を採用し、資源・マテリアルの保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 建物全体の一次エネルギー消費量を抑えることにより、連動してライフサイクルCO ₂ 排出率も下がるよう配慮した。 自転車置場と駐車場の量を適切に確保し、敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される